

学科学年	3	科目分類	制御情報工学基礎 演習 Fundamental Exercise 1	演習 編入学生 留学生 必修	H21通 年 2単位	学習教育 目標 B	担当	宮下 真信 MIYASHITA Masanobu
概要	3年次編入学生及び留学生に対し、1～2年次に実施している専門科目とくにプログラミング演習I、IIで学習する内容について、講義および演習を行う。							
科目目標 (到達目標)	Linuxシステム並びにC言語を習熟し、1～2年次の専門科目およびプログラミング演習の学習内容のキーポイントを理解する。							
教科書 器材等	学生の習熟度に応じて、はじめの授業で指定する。予定では、 独習UNIX 独習C(翔泳社 ケビン・リチャード著) はじめてのUNIX入門 小林真也(監修)他 森北出版 C言語演習 白井修二(著)他 森北出版 C言語標準テキスト 安藤明之(著) 高学図書 の中から選択する。							
評価の基準と 方法	演習課題の習熟度80%、授業態度20%として評価する。							
関連科目								
<b>授業計画</b>								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		制御情報工学科コンピュータ演習室環境の概説、LINUX 環境の説明。実習場所、実習日程の説明						
第2回		メールシステムの設定と使い方						
第3回		LINUXでのユーザ設定、シェルの概要、LINUX コマンドの説明など						
第4回		ファイルとディレクトリの基本						
第5回		アクセス権、モードの切り替え、ディスプレイ設定などの説明						
第6回		ファイルの操作、コマンド操作						
第7回		シェルの基本、エディタの基本的な使い方、並列処理方法						
第8回	×	LINUX システムの理解度テスト						
第9回		C言語の基礎、コンパイルと実行方法、ライブラリのリンク方法						
第10回		制御文I： データ型の宣言、配列宣言						
第11回		制御文I： if文、for文						
第12回		制御文I： 演算子、結果の出力						
第13回	×	C言語の理解度テストI						
第14回		制御文II： データや文の入力方法						
第15回		制御文II： if文、whileループ						
第16回		データ型、変数、式の詳細						
第17回		配列と文字列の使い方						
第18回	×	C言語の理解度テストII						
第19回		ポインタ： ポインタの基礎、配列とポインタ						
第20回		ポインタ： 文字列定数、ポインタ配列						
第21回		関数： 引数の引渡しと参照						
第22回		ファイルの入出力： 実数型データの入出力方法						
第23回		ファイルの入出力： バイナリデータの入出力方法						
第24回		課題の説明： 与えられた数式をプログラムで表現する						
第25回		課題実習						
第26回		課題実習						
第27回		課題実習						
第28回		課題実習						

第29回		課題実習
第30回	×	課題の結果の発表。解説
オフィス アワー		木曜16:30-17:00時
授業アンケートへの対応		プログラミングの知識について十分であると判断された場合は、数学科目などの補修を実施する。
備考		
更新履歴		20090327 新規